



予防接種を受けましょう

ワクチンで防げる病気があります。ワクチンによっては、自分だけでなく、家族など周りの人の健康を守ることもつながります。

問い合わせ すこやかセンター ☎21・8118

麻しん・風しんを予防しましょう

昭和37～53年度生まれの男性は風しんの抗体検査及び
予防接種が無料で行えます

麻しん・風しんは感染力が強く、感染した人のせきやくしゃみを吸い込んで感染します。

妊娠中に麻しんに感染すると早産や流産のリスクが高くなるほか、妊娠初期に風しんに感染すると、生まれる赤ちゃんが先天性風しん症候群(先天性心疾患、白内障、難聴など)を発症することがあります。



●風しん抗体検査・風しんの定期予防接種

抗体保有率が他の世代に比べて低い世代を対象に、無料で風しんの抗体検査と予防接種を実施しています。

対象 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれで、これまでに抗体検査や予防接種を受けていない男性

内容 令和4年4月に送付した無料クーポン券の有効期限を令和6年3月30日まで延長します。令和5年は新たに発送されませんのでご注意ください。

風しんの抗体検査・定期予防接種▶



●任意風しん予防接種費用の助成

風しん抗体検査の結果、抗体価が市の基準に該当した人に、MRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)または風しんワクチンの費用を助成します。

詳しくは、すこやかセンターまでお問い合わせください。

任意接種費用の助成▶



子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)の接種を逃した人の接種が無料に

子宮頸がんワクチンは、子宮頸がんの原因と考えられているHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染を予防します。また、すでに感染していても、ワクチンで子宮頸がんの発症を予防する効果があることも分かっています。平成25年以降、国の方針で個別通知を差し控えていましたがその後、ワクチンの有効性や安全性・副反応などについて検討され、ワクチンの安全性が確認されました。

対象 個別通知を差し控えた間に対象年齢(小学6年生～高校1年生)を超え、接種の機会を逃した女性(平成9年4月2日～平成19年4月1日生まれ)

接種可能な時期 令和7年3月31日まで

接種方法 昨年5月に市から接種券兼予診票を送付しました。指定医療機関へ予約し、予診票を持参の上、接種してください。紛失した人は接種券を再発行しますので、母子手帳を持ってすこやかセンターに来てください。



詳しくはこちら▶



なお、接種は強制ではありません。
市ホームページなどをよく読み、ご
家庭で話し合ってください。